

「つばめトランプ」のデザイン



♥1(A) 良寛

江戸時代の禅僧、詩人、歌人、書家。生涯にわたり寺を持たず、托鉢によって質素な生活を送りました。自然を愛し、子どもたちを慈しみ、人間愛に満ちた良寛は多くの人々の共感や信頼を得ました。その詩歌や書は、芸術性豊かな独自の境地に達し、良寛の人間性を今に伝えます。

♥11(J) 天神講

菅原道真の命日である2月25日に行われる天神様のお祭りで、日本各地で様々な風習が残っています。燕の天神講の特徴は、色鮮やかな天神菓子（粉菓子や金花糖）を供えることです。子どもたちは天神様の前で習字や本を読んだ後、天神菓子を食べて学業成就を祈ります。



♥12(Q) 五合庵

良寛は厳しい修行と諸国行脚の末、1793年ころ越後に戻り、のちに五合庵でおよそ19年を過ごしました。五合庵の名は江戸時代に国上寺の客僧だった萬元上人が、一日あたり米五合を給されて住んだことに由来します。国上山の中にひっそりとたたずむ五合庵には、今も静寂で詩的な風景が息づいています。

♥13(K) 金属洋食器（カトラリー）

金属洋食器の製造は、それまでの銅器・キセル・やすりなどの金工技術を用いて、大正時代初期に手造りで試作されたのが始まりです。その後、機械化が進み大量生産が可能になったことから全盛期には、多くの金属洋食器が燕から世界各国に輸出され、一大産地として有名になりました。



♣1(A) 長善館（鈴木文臺）

江戸時代の1833年に鈴木文臺によって創設された私塾です。閉館に至るまでの約80年で千人あまりの門人を世に送り出しました。塾名の長善とは、中国古代の礼儀に関する説を集めた書物『礼記』に出てくる「教育とは、人の長所を伸ばし、欠点を補うこと」から来ています。

♣11(J) 旧浄水場配水塔

1941年に旧燕町の上水道施設を建設した際に建てられた、高さ約31メートル、鉄筋コンクリート造の配水塔です。1969年にその役割を終えましたが現在でも配水塔は残り、市民からは「水道の塔」と呼ばれ、シンボリックな建物として、また、歴史的な遺産として親しまれています。



♣12(Q) 鋸起銅器

鋸起銅器とは、銅板を鋸で根気強く打ち伸ばしたり、打ち縮めたりするなどの作業で出来た急須・やかん・器などの製品を言います。起源は1764～70年頃に仙台から燕を訪れた銅器職人が伝えたといわれています。1981年には国の伝統的工芸品産業として指定されました。

♥12(K) 飛燕舞（燕市産米）

越後平野のほぼ中央に位置する燕市は、信濃川水系の豊富な水の恵みを受けて、米作りが盛んに行われています。その中でも、燕市内で特別に栽培、生産され、厳しい基準をクリアした、品質・食味に優れた一等米のコシヒカリのみを飛燕舞と呼んで出荷しています。





◆1(A) 燕戸隠神社祭礼

燕戸隠神社の祭礼行事は、春と秋に開催されます。特に春の祭礼が盛大で、天狗様が先導する大名行列がねり歩き、萬燈が街に繰り出します。その傍らでかわいい踊り子たちが門付けをして回ります。祭りの終盤に若連中が参道を走り抜ける舞い込みは迫力があります。

◆11(J) 国上寺

国上山の中腹にある真言宗の寺院で、709年に創建された県内最古の名刹です。中世には弥彦神社と緊密な関係にあり、上杉謙信をはじめ諸将の崇敬を受けました。源義経、弁慶や酒吞童子などの伝説も残っています。現在の本堂は1718年に再建されたものです。

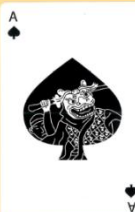


◆12(Q) 分水おいらん道中

大正時代に有志によって行われていた仮装行列を起源とし、大河津分水堤防にソメイヨシノが咲き誇る時期に開催されています。絢爛豪華な衣装に身を包んだおいらん役が独特な外八文字の歩き方を披露するとともに、多くの付き人がおいらん役をより艶やかに引き立てます。

◆13(K) 八王寺の白藤

八王寺にある安了寺の境内にある白藤の巨木。幹回り約7m、枝張り東西約30m、南北約20mで樹齢300年以上の名木です。1958年に新潟県の文化財（天然記念物）に指定されました。毎年5月になると優雅な白い花房が垂れ下がり、甘い香りが一面に漂います。



♠1(A) 下中野御神楽舞

吉田下中野にある諏訪赤坂神社で行われる神楽舞で、実施の期日は決まっておらず、数年もしくは数十年に一度お祝い事があった時などに行われます。棒、太刀、神楽、うずら、獅子、外郎、笛、太鼓、露払警護の九つの部門があります。1998年に新潟県の無形文化財に指定されています。

♠11(J) 米納津隕石

1837年に富永地区に落下した隕石で、日本に落ちた隕石の中では3番目に重い31.65kgの重量があります。現在は東京の国立科学博物館に保存展示されており、そのレプリカを長善館史料館で見ることができ、落下地には記念碑が立っています。



♠12(Q) つばめの農産物

燕市は金属洋食器をはじめ工業で有名な街ですが、実は農業も盛んです。面積の半分は農地であり、様々な種類の農産物が栽培されています。「もとまちきゅうり」や「つばめトマト」をはじめ、なす、長ねぎなど年間を通じて旬の味わいを楽しむことができます。

♠12(K) 燕ラーメン

昭和30年代、不規則な労働時間で働く工場労働者にあわせて研究されたラーメンは、出前でも伸びにくいような極太面、煮干しなどの魚介類のダシが効いた濃いめの醤油味のスープ、そして味をマイルドにするためにもスープを冷めにくくするためともいわれる大量の豚の背脂が特徴で、市内のいたるところで味わえます。



Joker(ジョーカー) 酒吞童子

砂子塚に生まれたとされる酒吞童子は、幼名を外道丸といい、国上寺に預けられました。美男子だった外道丸には恋文がたくさん届きましたが開くことはなく、返事の来ないことを悲観した娘が命を絶ち、それを知った外道丸が恋文の詰まったつづらを開けると煙が立ち昇り、鬼の顔になったと伝えられています。